

岡山で就農

現地に足を
運んでみれば
つかめることがある

中国・四国の
クロスポイントで
利便性がよい

晴れの国の
高品質な
ブランド農産物

OKAYAMA



©岡山県
「ももっち・うらっち」

研修後就農率※

93%

※ H27～R6年度に農業実務研修を開始した者の
就農割合（研修中の者を除く）

岡山県担い手育成総合支援協議会

経営主として農業を始めたい方への支援フロー

情報収集

就農ポータルサイト



移住ポータルサイト



法人就農

ハローワークインターネットサービス
「求人情報検索」
希望職種：「農業、林業、漁業」



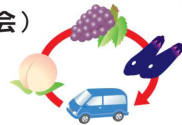
相談

晴れの国おかやま就農セミナー＆相談会

- ・先輩就農者の体験談
- ・個別相談会

地域就農オリエンテーション(地域見学会)

- ・県内9地域で年2回(7、10月頃)開催
- ・新規就農研修制度の受入産地を見学



体験

岡山県農林漁業担い手育成財団

新規就農相談(就農全般)
農業経営の改善・拡大に向けた相談

農業普及指導センター(県内9か所)

- ・地域の新規就農相談窓口
- ・栽培技術指導 等

市町村農林部局

地域の新規就農相談窓口

岡山県農業会議

雇用就農相談窓口

岡山県立青少年農林文化センター三徳園での各種入門研修

- ・経営に必要な機械・施設、野菜や果樹の現場見学
- ・野菜や果樹の農作業体験と知識習得

各地域の農作業体験

(市町村、J A等)



技術を習得

農業基盤がある(農家出身者)

農業基盤がない(非農家出身者等)

経営分離で就農予定時に原則50歳未満

就農予定時に原則50歳未満

地域帰農塾(市町村、J A等)

- ・地域園芸品目の栽培技術研修(年4～10回程度)

社会人就農研修(三徳園)

- ・講義・実習・視察等を組み合わせた実践的研修
- ・果樹(桃、ぶどうコース)と野菜コース
- ・4～2月の平日に実施(年間30～50回程度)
- ・1月頃募集(書類選考、面接あり)

栽培実践研修(三徳園)

- ・年間を通じた果樹(桃、ぶどう)や野菜の実践的な研修
- ・書類選考、面接あり

新規就農研修(県)

- ・対象者：岡山県内で独立・自営就農を希望する就農予定時に原則50歳未満(地域によっては55歳未満)の方
- ・1か月の「農業体験研修」と最長2年間の「農業実務研修」
- ・就農予定地の受入農家の元での実践研修
- ※詳細は次のページ
- ※各地域の受入年齢は裏面の各農業普及指導センターにお問い合わせください

就農後も農業普及指導センター、J A等が技術面などをサポート!

岡山県立青少年農林文化センター三徳園での各種技術スキルアップ研修

- ・ハウス組立、ぶどう棚設置、いちご栽培管理、経営計画作成、他

栽培講習会(市町村、J A等)

- ・J Aの部会員等を対象に各地域で開催

地域を担う農業者

就農支援補助金・資金(例)

早期経営確立支援事業

(相談先：市町村・県民局)

- ・農地の賃借料や空き家・農業施設等の修繕費用を助成
- ・対象者：農業実務研修を活用し、就農が確実と見込まれる者又は就農後1年以内の新規就農者

経営開始資金

(相談先：市町村・県民局)

- ・月額12.5万円を農業を始めてから経営が安定するまでの最長3年間支給
- ・対象者：経営開始3年以内で、就農時に原則50歳未満の認定新規就農者

青年等就農資金

(相談先：日本政策金融公庫)

- ・青年等就農計画の達成に必要な資金の融資
- ・対象者：認定新規就農者
- ・融資期間：17年以内(うち据置期間5年以内)
- ・限度額：3,700万円以内、無利子

経営発展支援事業

(相談先：市町村・県民局)

- ・機械・施設等の導入に係る費用の補助
- ・対象者：経営開始2年以内で就農時に原則50歳未満の認定新規就農者
- ・補助対象事業費上限：1,000万円(経営開始資金受給者は上限500万円)
- ・自己負担額1/4以上(金融機関からの融資)が必須

※事業を活用するためには各種要件を満たす必要があります。
活用を検討される際は、お早目に担当機関にご相談ください。

【認定新規就農者とは？】

- ・新たに農業を始めの方が作成する青年等就農計画(5年間の営農計画)を市町村が認定します。
- ・認定を受けると様々な支援措置の対象となります。

【農地の貸借は？】

- ・各市町村の農業委員会にご相談ください。

新規就農研修による就農へのステップ

産地で研修－産地に就農

スタート

情報
収集

個別
相談

現地
見学

就農希望地域 と品目の決定

第2のスタート！



就農

1 ~ 2年間

Step2

30日間

体験研修

研修計画作成
受入検討会
(9月、1月頃～)

実務研修

農地・住居確保

年額約150万円の
研修費を受給

- 受入農家のもとで農業技術・経営知識の習得
- 地域との絆づくり
- 農地や住宅情報の収集

➤ 農家のもとで農作業と
農村生活の体験

Step 1

合格

体験研修 面接会

(7月、11月頃)

年2回募集

体験研修 申込

(6月、10月頃)

新規就農研修の対象

- ✓ **岡山県で独立・自営就農を目指す方** ※その他要件あり
- ✓ **就農予定時に原則50歳未満の方**
※地域により研修申請時に55歳未満の方を受入れています。
- ✓ **非農家出身者(農地や施設・機械等を相続する見込みのない)の方**
※就農予定時に50歳未満の方は農家出身の方でも対象となる場合あり

研修受入産地を確認！

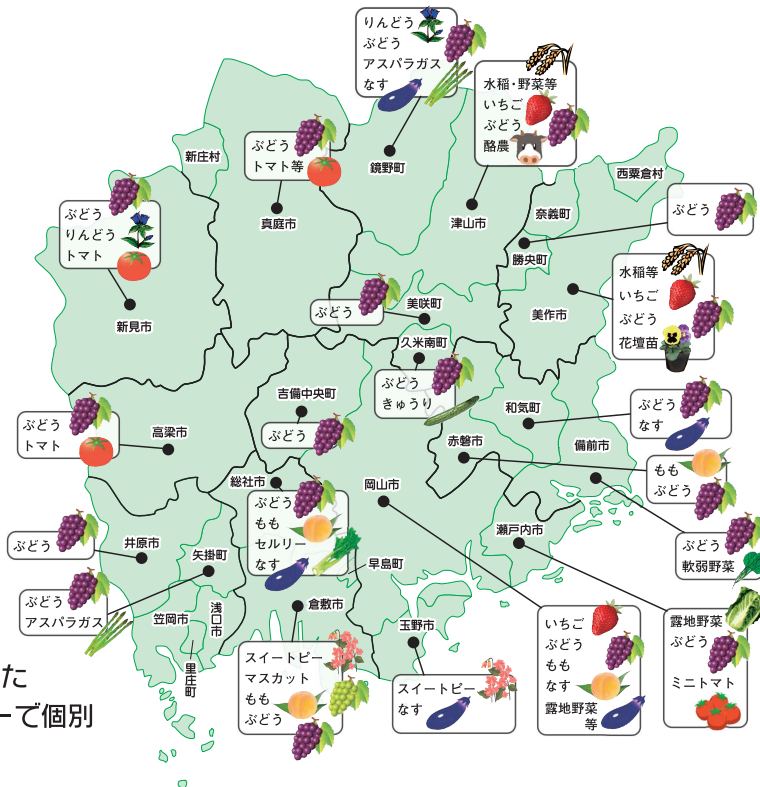
年2回公表します(5月、9月頃)
毎年同じ産地が受け入れているとは限りません
※地図はR7年度に研修受入体制がある地域の例

現地に通い
手本となる師匠、
助けてくれる先輩を
見つけよう



体験研修申込前にチェック！

- ☐ 家族と話し合い、生活と農業のイメージを固めた
- ☐ 産地を管轄する県民局・農業普及指導センターで個別に要件を確認した
(前年度所得、雇用就農資金受給の有無等)
- ☐ 研修と就農後について産地と自身の想いが一致した



新規就農研修の実績

(R7年3月現在)

1 研修による新規就農者数 (H27～R6)

農業体験研修 修了者	農業実務研修			就農率 ③/(①-②) ※	営農継続率 ※2
	開始者①	研修中②	就農者③		
284	269	27	226	93%	99%

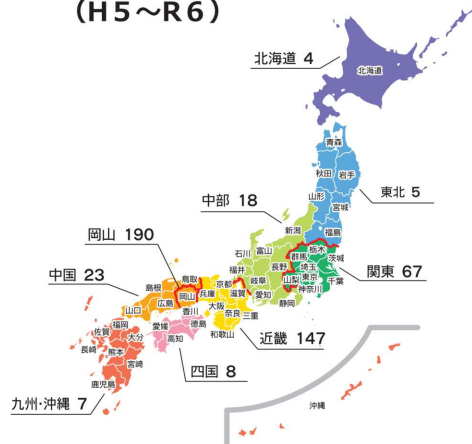
※ H27～R6年度に農業実務研修を開始した方の就農割合(研修中の方を除く)

※2 農業実務研修を利用して就農した者のうち、R6年3月現在農業経営を継続している方の割合

2 研修による新規就農者の栽培品目 (人) (H5～R6)

品目名	果樹	野菜	花き	その他
人数	303	133	25	9
内訳	ぶどう 243	トマト 44	スイートピー 10	水稻 7
	もも 59	なす 26	りんどう 5	特用作物 2
	梨 1	露地野菜 17	ばら 3	
		有機野菜 15	シクラメン 2	
		いちご 9	その他 7	
		その他 22		

3 研修による新規就農者の出身地 (人) (H5～R6)



就農を思い立ったらまずはご相談ください！

新規就農相談窓口(就農全般のこと)

公益財団法人岡山県農林漁業担い手育成財団 086-226-7423
〒703-8278 岡山市中区古京町 1-7-36

岡山県立青少年農林文化センター三徳園 086-297-2016
〒709-0614 岡山市東区竹原 505

受付時間：平日 9:00～17:00

※休日に実施する相談会等は下記ホームページに掲載しています。

担当者が不在の場合もありますので、面談を希望する方は必ず事前に電話にてお問い合わせください。

新規就農研修等制度のこと

岡山県農林水産部農産課 086-226-7420

雇用就農のこと

一般社団法人 岡山農業会議 086-234-1093

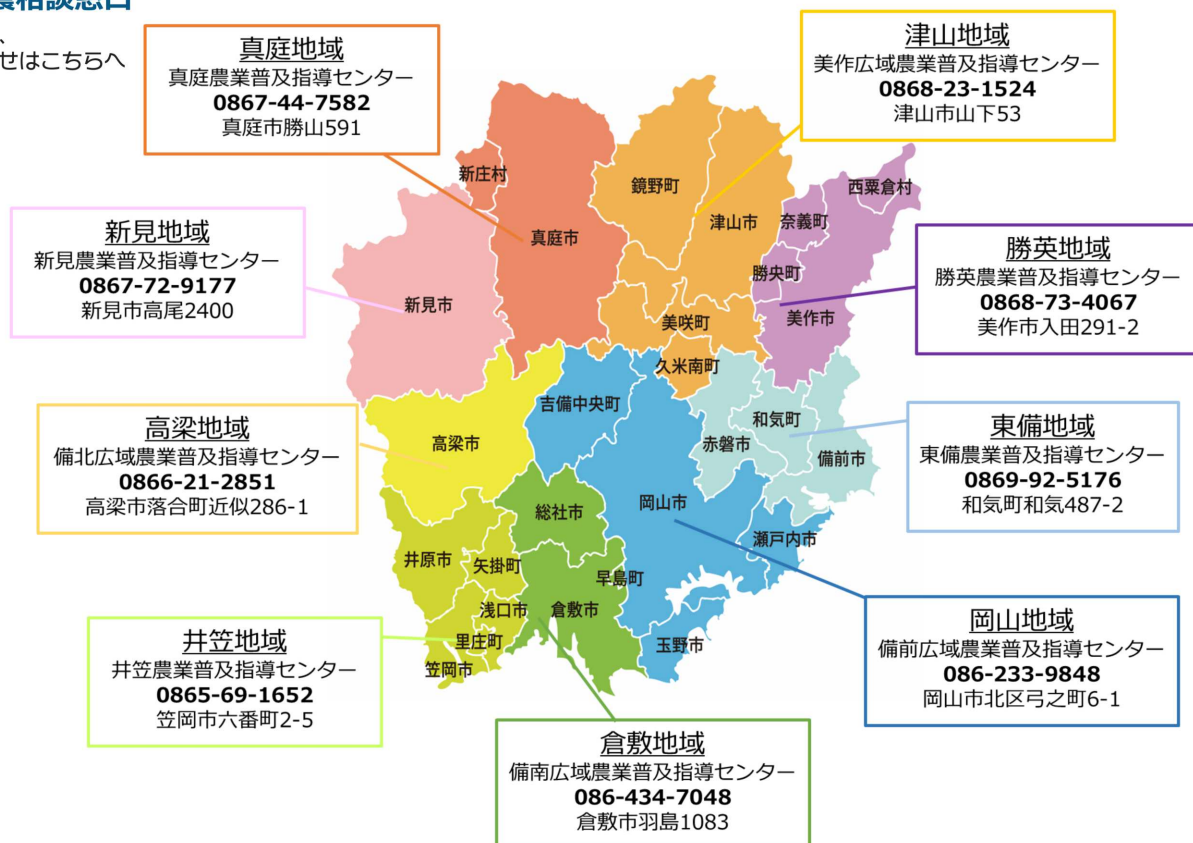
岡山県担い手育成総合支援協議会事務局

岡山県農業協同組合中央会 086-230-5022

R7.7現在

県内各地域の就農相談窓口

各地域の詳しい情報や、
現地訪問のお問い合わせはこちらへ



ホームページで就農情報を確認！

<https://www.okayama-ninaite.com>

岡山県 担い手

検索



協議会HP



イベント関連通知
LINE 公式アカウント登録